

令和2年12月24日

第2学期終業式 式辞

生徒の皆さんおはようございます。

8月24日から始まったいつもより長かった2学期が今日で終わります。新型コロナについて、12月23日には兵庫県内で169名の感染が確認されました。12月23日までの県内感染者の総数は8607人、県内の死者の累計は146人、全国の感染者総数は20万7624人、死者は3082人となっています。

まだまだ、終息に向かっているとは言えませんね。本校でも、甲フェスができなかったり、球技大会も中止になったりと大きな影響を受けましたね。その中でも、体育大会や2年生の修学旅行、1年3年生の遠足など、できたこともありました。皆さんが感染予防によく努めてくれたからだと思います。年が明けたら、3年生は共通テストがあり、卒業式があり、と大切な行事やイベントがあります。また、皆さんには直接関係なくても、これから甲高生になってみんなの後輩になる受検生の高校入試があります。気持ちよく迎えらるようにならなければならないと思います。

さて、今の私たちは感染予防以外に何かすべきことはあるのでしょうか。

もちろん、できるだけ感染予防しながら日常のすることはすべきです。たとえば、学習ですよ。部活動などもできる範囲ですべきでしょうね。家にいるのなら、家事の手伝いもすべきでしょう。コロナがなかった頃をしていた日常は、できる範囲ですべきでしょう。いえ、この際学習などは、外出とかしにくい分、今のうちにコロナ前よりたくさんやって貯めておくと良いでしょう。どうせやらなければならないことなら、今のうちに“やりだめ”をしておけば、コロナが過ぎ去った後、思い切り羽を伸ばせるかもしれません。コロナ後にしたいことを思いっきりすることを楽しみにして、そして今の「おうち時間」が長いことを活用して、学習を進めることはとても有意義だと思います。

今私が言ったこと以外にもう一つ皆さんにしてほしいことがあります。それは、今のこの状況を皆さんの将来の子供や孫など、次の世代の人に伝えることです。そのために今をしっかり記憶、記録することです。日本中、世界中の人が今を経験しているから、そんなことは自分じゃなくても誰かしてくれるだろうと思ってはいけません。歴史上何度も感染症の拡がりは繰り返されてきました。でも、そのことがどれだけ教訓として残っていたのでしょうか。日本においても、これまで何度も感染症の爆発はありました。例えば、今から100年前にはスペイン風邪という、今で言うなら新型インフルエンザが流行し、日本では40万人以上の方が亡くなりました。世界で見ると5億人以上が感染し、1億人以上が亡くなったとも言われています。その当時、世界の人口は18億から20億人くらいだったとされているので、実に世界の3～4人に

1人の割合で感染し、20人に1人以上の割合で死者が出たことになります。今の世界のコロナ感染者は7千803万人(12/23現在)、死者は171万人(12/23現在のデータ)、100人に1人の感染割合ですから、どのくらい悲惨だったかが想像できると思います。でもその時に人々がどうしていたかを知る人はどのくらいいるのでしょうか。研究者とかならある程度知っているでしょうが、皆さんはどうでしょうか。実は、そのときのことを知っている、今に生かせることがたくさんあります。

例えば、京都の女学生の日記には、自分や弟、友達が感染したこと、友達のお母さんが亡くなったこと、広島から京都に来ていたおじいさんと一緒に卓球をしたりして遊んだが、列車に乗って広島に帰ったおじいさんが約20日後に亡くなった話など、今参考になる話がたくさん書かれています。興味のある人は、「河口からVI」(かこうから6)という本や「感染症の日本史」という本に書かれていますので、読んでみると良いでしょう。アカデミックな研究だけではなく、民間の人がどうしていたか、高校生がどんな生活を送っていたかということは、きっと後の世には貴重な情報になるはずです。

今皆さんはマスクをしていますよね。100年前のスペイン風邪の時、今と同じように日本ではマスクをつけるように政府が奨励していました。このときから、日本でマスクをする習慣が広がったそうです。実はスペイン風邪がはやった1918年アメリカのサンフランシスコ市ではマスク着用を義務づける法律ができるなど、欧米でも感染症予防のためにマスクを着用していたのです。しかし、文化の違いからか、スペイン風邪の後、欧米ではマスク文化は広がりませんでした。コロナ前は欧米でマスクをしていると、ひどく重い病気の人か、変な人とみられる状況でした。しかし、日本ではマスクに対する抵抗感は低く、感染予防、アレルギー予防、他者への気遣い、などでマスクをすることが、スペイン風邪後もその文化が残りました。もしかすると、そういう文化の違いが日本と欧米とのコロナ感染の状況の違いの要因の一つではないかと考える人もいます。真偽のほどは、しっかりした研究がないとわかりませんが……。意識していたか否かは別にして、マスクに関しては、スペイン風邪の教訓が日本で長く生きていたことになるのではないのでしょうか。今のコロナの状況を、後世に伝えることは、今を生きる私たちの責務だと思います。

ぜひ冬休みには、今言った2つのことをしてください。一つは「おうち時間」を利用して、学習の貯金をたっぷりする。もう一つは、今年1年を振り返り、今年的生活を記憶にしっかりとどめる。

それでは、来年が甲高の皆さんにとって、そして保護者の皆さん、先生方、日本中の人、世界中の人にとって良い年になることを祈りましょう。以上で終わります。